

whohc walkneq~ 八海山先達

2020.11月 Vol62

目黒区目黒本町1-10-17

03-3716-1704

八海山先達

佐藤智江



今年は、縮小の形でしたが、秋晴れの中、火渡り祭無事、執り行う事ができました。**東京目黒講からは、村瀬さん、西村さんに代表として参列**して頂き、皆様のお札をしっかりと胸に抱き、渡って頂きました。ありがとうございます m()m



八海山ではこの火渡り祭の前に、神殿の中まできれいに大掃除して大祭を迎えます。私も八海山とご縁をいただいてから、毎年9月あたりから部屋をかたづけ整えてから、八海山へ向かうという流れが、できています。

そして今年は、断捨離のやましたひでこさんに智慧をいただきとりわけ念入りにやっております。

(大祭まで終わらず現在進行形です^-^)

多くのやました語録にぐぐっと心をわしづかみにされたのですが、その中の一つ【**隙間収納は満員電車**】のお話をさせて下さい。

隙間収納を上手に使うということは、空間・間をふさいでしまう事です。物と物との間がない(間抜け)。ぴったりくっついている。正に満員電車状態。それを考えると、くっついているけど関係性は全くない。むしろ体を固くして、意識で隣との壁を厚くしている。孤立している状態。閉ざしている状態。

合気道の稽古でも、相手との間合いというのをとても重要視します。会社のデスク。隣との適度な間が空いているから、仕事に集中できます。もし肩が触れるほど、上司との間がなかったら。。

間がない事で失う物はとてもありますが、得るものは、何でしょうか？

空間を空間として置いておく。ということはとても大切な事。隙間を見つけて物で埋めるとするのは、何もない空間・何もない時間を埋めたがるという心を映しているのではないのでしょうか？

適度な空間があるからこそ、独立しながら繋がっている。間がないと、くっついているけど孤立している。人と人とだとわかりやすいですが、物と物でも同じです。博物館や展示場を思い浮かべていただくとわかりやすいです。物と物の間が保たれています。それら全体で美しさがあり、一つ一つが生き生きしていますね。



目指すはこれです！スッキリ 整っているのはあたりまえ。うっとりするところまで磨き上げる。**自分にふさわしい一軍だけを厳選して、それを大切に使う。**

自分を取り巻く物たちに魂を吹き込む。そんな部屋で時間を過ごすのと、隙間もびっちり収納され、時にアし、こんなのあったっけ？なんてこともしばしば、な部屋で過ごすのでは、気持ちのありようが全然違いますね(物たちにも失礼な事していたと反省しました)

間を埋めた時に(人・物)

失う物：ゆとり 信頼感 自由 解放感 会話

得る物：イライラ 警戒心 不自由 無関心 消耗

無関心そのものなので、その存在すら忘れていて。隙間の有効活用として埋めてしまったとき(満員電車を想像し)、失う物の大きさに愕然としました。

日本の伝統芸能は【間】を抜きにしては成り立ちません。能・日本画・古武道・華道・日本庭園。そして、時間・空間・人間にも【間】が使われています。

家というのは、その住人の波動そのものです。年末に向けてお掃除も気になり始める時期ですが、ちょびりそんな事も頭の角に置いてお部屋を見渡してみるのも新しい年に向けていいかもですヨ♪

